

食育通信～職場で食場環境を考えよう～

Vol.16

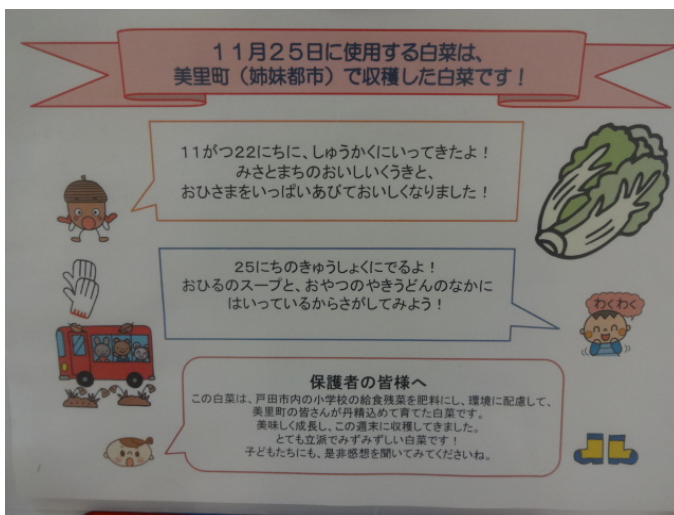
平成28年3月14日

～生ごみを堆肥に(環境グリーン推進課)～

戸田市と蕨市のごみを搬入している蕨戸田衛生センター組合が運営する「リサイクルフラワーセンター」では、市民から生ごみバケツにより回収した生ごみを使用し堆肥を作っています。その堆肥を使ってセンター内で育てた花苗を、生ごみバケツを持ちこんだ市民に還元しています。このように、生ごみを再利用することで、家庭から出る可燃ごみの内、約24%も占める生ごみを削減することに寄与しています。

生ごみから作られた堆肥は、両市にも配分され、戸田市ではその堆肥を使って、学校や町会など市内で使用する花苗の育成に使っています。

また、姉妹都市の美里町に生ごみ堆肥を提供し、地元農家の協力を得て、白菜などの野菜を作っています。そこで収穫された白菜などは、戸田市内の学校給食や、保育園の給食などで使用し、その給食を子どもたちが食べています。このように、ごみとして捨てられた食品が生まれ変わって、再び私たちの口に戻ってくるという「循環型社会」を作る一助となっています。



●生ごみ堆肥で作られた白菜の使用例(市立保育園にて)

環境グリーン推進課では、このような取り組みを通じ、ごみの減量化を推進しています。

これは、生ごみの再利用の一例ですが、ごみは発生させないことが第一ですので、皆さんもまずは、「買い過ぎない」・「作り過ぎない」と「残さず食べきる」をぜひ実践してみてください。(でも、健康のために、「食べ過ぎ」には注意です。)

～食に関心を持って健康な身体をつくろう(福祉保健センター)～

【平成27年度市民アンケート調査の結果から】

市では、市民の皆さんが「食」に関する知識や「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できるようにすることを目指し、平成23年度に5年間の目標値を定めた食育推進計画を策定しました。その取り組みの達成度を評価するために実施した市民アンケート調査の結果をご紹介します。

【食に関する市民アンケート調査結果】

	目標指標	27年度 食育目標値	27年度 結果	目標値 達成状況
食に対する 意識	食育に関心を持っている人の割合	90%以上	73.9%	
	「食育」の言葉も意味も知っている人の割合	50.0%	63.5%	◎
健康を支える 「食」	毎日は朝食を食べない人の割合	9.0%	20.4%	
	副菜（野菜料理）を毎日食べている人の割合	73.0%	62.9%	
	一口30回程度噛んで食べている人の割合	30.0%	5.5%	
心をつなぐ 「食」	週の半分以上親しい人と楽しい（団らん）食事をしている人の割合	67.0%	71.9%	◎
	「食」に関する体験を1つでもしている幼児の割合	80.0%	90.7%	◎
	「いただきます」「ごちそうさま」など食事のときに挨拶を毎日している人の割合	80.0%	53.3%	
循環する 「食」	地産地消の言葉も意味も知っている人の割合	75.0%	69.4%	
	食品を購入するときに食品表示を見て購入する人の割合（全般的に見る人）	50.0%	62.0%	◎
	生ごみを出さない工夫を1つでもしている人の割合	70.0%	81.9%	◎

※実施期間：平成27年5月22日～6月12日 対象：市民2000人（無作為抽出） 回収率：51.7%

戸田市食育推進計画では、戸田市が目指す食育のイメージを「食育の木」という大きな木に見立てました。食への興味、食への関心に様々な情報や経験などの刺激が加わることで食に対する意識が高まり、育っていきます。そして、『健康を支える「食」』、『心をつなぐ「食」』、『循環する「食」』の3つの取り組みは、お互いの取り組みと関係し合いながら進んでいきます。

アンケート結果から、食育への関心がある人は朝食や野菜料理の摂取率が高いということがわかりました。健康的に活動するために、まずは食育に関心をもって、朝食を毎日食べることから始めましょう。



☆☆☆☆☆「戸田市食育推進情報局」にぜひ遊びにきてください☆☆☆☆☆

福祉保健センターで行っている食育活動の取り組みや食育に関する教室等をPRするページを開設中です。

戸田市食育推進情報 <http://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/236/health-shokuiujukoho.html>